PAT-NO:

JP403054791A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 03054791 A

TITLE:

FILTERING DEVICE FOR RECORDING AND REPRODUCING DEVICE

PUBN-DATE:

March 8, 1991

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

KURODA, MASAYUKI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SONY CORP

N/A

APPL-NO:

JP01190927

APPL-DATE:

July 24, 1989

INT-CL (IPC): G11B033/14

ABSTRACT:

PURPOSE: To efficiently collect dust in a sealed container by providing a breathing filter, which communicates the inside of the sealed container with an external part, on the downstream side of a circulation filter to collect the dust in the circulating flow of air to be circulated in the sealed container.

CONSTITUTION: On the downstream side of a circulation filter 20 which collects the dust in circulating flow A of air to be circulated in a sealed container 4, a breathing filter 24 is provided to communicate the inside of the sealed container 4 with the external part. Accordingly, an external air current is made flow from the outside of the sealed container 4 through the breathing filter 24 into an arrow C direction and a position P on the downstream is set in a state close to air pressure. Thus, the dust does not float in an air eddy for a long time and is loaded on the air circulating flow without fail. Then, the dust in the sealed container 4 can be efficiently collected.

COPYRIGHT: (C)1991, JPO& Japio

4/20/06, EAST Version: 2.0.3.0

⑩日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平3-54791

Solnt. Cl. 5

勿出 願 人

識別記号

庁内整理番号

❸公開 平成3年(1991)3月8日

G 11 B 33/14

M

7627-5D

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全5頁)

公発明の名称 記録再生装置のフイルタ装置

②特 願 平1-190927

20出 願 平1(1989)7月24日

@発明者 黒田 正幸

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号

10代理人 弁理士土屋 勝

明細 🖀

1. 発明の名称

記録再生装置のフィルタ装置

2. 特許請求の範囲

記録媒体の記録及び/又は再生を密封容器内で 行う記録再生装置において、

上記密封容器内に設けられて、該密封容器内で循環される空気循環流中の塵埃を補集する循環マイルタと、

上配密封容器の上配循環フィルタに対する上配空気循環流の下流偶に設けられて、該密封容器内を外部と連通する空気流通孔と、

上記空気流通孔に取付けられた呼吸フイルタと を具備させたことを特徴とする記録再生装置のフェイルタ装置。

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

本発明は、例えば、ハードディスクを用いるディスク記録再生装置に適用するのに最適な記録再生装置であつて、特に、密封容器内の塵块補集のためのフィルタ装置に関するものである。

[発明の概要]

本発明は、記録再生装置の密封容器内で循環される空気循環流中の塵埃を補集する循環マイルタの下流側に、密封容器内を外部と違通させる呼吸フィルタを配置させることにより、密封容器内の塵埃を効率良く補集することができるようにしたものである。

[従来の技術]

ハードディスクを用いるディスク配母再生装置のフィルタ装置に関して、本発明の出題人は先題例(例えば実顧昭 6 1 ー 9 5 5 6 2 号)を先に出題している。

との先駆例は、 第 5 図に示すように、 上部開放 形の容器本体 1 と下部開放形の容器 カバー 2 とを 上下から嵌合させて複数のねじるによつの割をさせて複数のねじるによって結合器はない。この密封容器はないである1枚でののがでは、なりにからないである1枚である1枚では、なりにはないでは、なりにはないでは、ないのであるのである。

そして、密封容器 4 内において、デイスクモータ 6 によつてデイスクロータ 7 を介してハードディスク 5 を矢印 a 方向に約 3 . 6 0 0 rpm で高速回転駆動しながら、ヘッドモータ 9 によつてヘッドアーム 1 1 をアーム軸 1 0 を中心に矢印 b 方向に揺動駆動して、浮上式ヘッド 8 でハードデイスク 5 をほぼ半径方向に走査して、所望の配録及びノ又は再生を行う。

そして、ハードデイスク5の高速回転によつて

上記目的を選成するために、本発明の記録再生接置のフィルタ装置は、記録媒体の記録及びと又は再生を行う密封容器内に設けられて、該路封容器内で循環される空気循環流中の塵埃を補集する。 循環フィルタと、上記密封容器の上記循環フィルタに対する上記空気循環流の下流側に設けられて、該密封容器内を外部と連通する空気流通孔と、上記空気流通孔に取付けられた呼吸フィルタとを具備させたものである。

[作用]

上記のように構成された配録再生装置のフィルタ装置は、循環フィルタに対する空気循環流の下流側に、空気流通孔及び呼吸フィルタを通して外気を流入させて、その下流側の気圧を大気圧に近づけることができるから、上記下流側に負圧によって発生する空気の禍を減少させることができる。

[実施例]

以下、本発明をハードデイスクを用いるデイス

密封容器 4 内に発生されて、ハードデイスク 5 の外間を旋回するようにして密封容器 4 内を循環する空気循環流 A 中の塵埃を循環フイルタ 1 2 で補集するようにしたものである。

[発明が解決しようとする課題]

しかし、先駆例では、循環マイルタ12に対する空気循環流Aの下流側の位置Pが角圧になつて、その下流側の位置Pに空気の渦Bが発生して、その高B中で塵埃がいつまでも浮遊し易く、この渦B中の塵埃を循環マイルタ12で補集することが困難であり、塵埃の補集効率が悪いと言う問題点があつた。

本発明は、循環フィルタに対する空気循環流の 下流側に発生する空気の渦を減少させることがで きる記録再生装置のフィルタ装置を提供すること を目的としている。

[課題を解決するための手段]

ク記録再生装置のフィルタ装置に適用した一実施例を第120~第420を参照して説明する。なお、第520に示した先顧例と同一構造部には同一の符号を付して重複説明を省略する。

まず、第4図はディスク記録再生装置全体を示したものであつて、密封容器4内で、ディスク状記録体のハードディスク5の外周に近ばされた2箇所にフィルタ装置イルタを置して、これらの各ファイルタを置して、ハードディスク5の矢印 a 方向でれて、 スク5の矢印 a 方向でれて、 スク5の矢印 a 方向でれて、 スク5の矢印 a 方向でれて、 スク5の外間を旋環流 A 中の庭埃を補果するものである。

次に、第1図~第3図は各フイルタ装置15の 詳細を示したものであつて、ホルダー16の空気 循環流Aに対する上流側の壁16aと下流側の壁 16bとに空気流入口17と空気流出口18とが 設けられ、ハードデイスク5の外周に近接された 円弧状の壁16cにも空気流入口19が設けられ の壁16cにも空気流入口19が設けって タである一対の循環フィルタ20、21が設フィータの 流入口のではなったがです。これがである。ないである。ないではなったがではないのではないではないではないではないではないではないではないでは、本器とははいるのが好ました。というないのが好ました。というないのではしているのができる。ないでは、上着を ロログロンスやののが好ました。

なお、空気流通孔 2 2 は密封容器 4 内への外気の流入及び内部空気の密封容器 4 外への排出による自然換気を行つて、密封容器 4 内を大気圧に維持させると共に、内部温度の上昇を防止している。

以上、本発明の実施例に付き述べたが、本発明は上記実施例に限定されることなく、本発明の技術的思想に基づいて、各種の有効な変更が可能である。

例えば、循環マイルタ20、21と呼吸マイルタ24とを別々に密封容器4に取付けることも可能であるが、上記実施例で示したように、1つのホルダー16に循環マイルタ20、21と呼吸マイルタ24とを一緒に組付ければ、このホルダー

が、 ととでは、 ホ ルダー 1 6 の底壁 1 d に設けた 凹部 2 5 内に呼吸 フ イ ルタ 2 4 を接着等にて取付けている。 そして、 両循環 フ イルタ 2 0 、 2 1 及び呼吸 フ イ ルタ 2 4 は例えば グ ラ スフ ア イパー 材等にて構成されている。

以上のように構成されたフイルタ装置15によれば、ハードデイスク5の矢印 a 方向の高速回転によって発生した空気循環流 A が ホルダー16の両空気流入口17、19からホルダー16内に流入し、両循環フィルタ20、21を通つて空気流出口18から流出される空気は清浄空気となる。

との際、両循環マイルタ20、21の空気循環 旅Aに対する下流側の位置Pに、空気流通孔22、 23及び呼吸マイルタ24を通して密封容器4外 から外気流が矢印じ方向に流入されて、その下流 側の位置Pが大気圧に近い状態となる。 従つて、 その下流側の位置Pに負圧によつて発生する空気

1 6 によつて循環フィルタ2 0、 2 1 と呼吸フィルタ2 4 とを密封容器 4 に対して同時に脱着する ことができて、部品点数及び組立工数の削減を計 ることができる。

また、上記実施例では、ホルダー16を密封容器4の容器本体1側に取付けたが、ホルダー16を容器カパー2側に取付け、その容器カパー2側に空気飛通孔23を設けても良い。

また、フィルタ装置15はハードディスク5の外周近傍位置に設けるのが好ましいが、密封容器4内のどの位置にフィルタ装置15を設けても良い。

また本発明は、ディスク記録再生装置に限定されることなく、その他各種の記録再生装置に適用 可能である。

[発明の効果]

本発明は、上述のとおり構成されているので、 次に記載する効果を奏する。

循環フィルタに対する空気循環流の下流側に、

空気流通孔及び呼吸フィルタを通して外気を流入させて、その下流側の気圧を大気圧に近づけることができるようにして、上配下流側に負圧によつて発生する空気の渦を被少させることができるとがなくなり、 塵埃を空気循環流に確実に乗せて、循環フィルタで早期に補無することができる。

4. 図面の簡単な説明

٠..

. . . .

第1図~第4図は本発明の一実施例を示したものであつて、第1図はフィルタ装置を示した斜視図、第2図はフィルタ装置の水平断面図、第3図は第2図の世一型矢視図、第4図はディスク記録再生装置全体の一部切欠き斜視図である。

第5回は先顧例の一部切欠き平面図である。 なお、図面に用いられている符号において、

4 密封容器

5 ……… ハートディスク(ディスク状

記録媒体)

15…… フィルタ装置

20,21 循環フイルタ

2 2 . 2 3 空気流通孔

2 4 …… 呼吸フイルタ

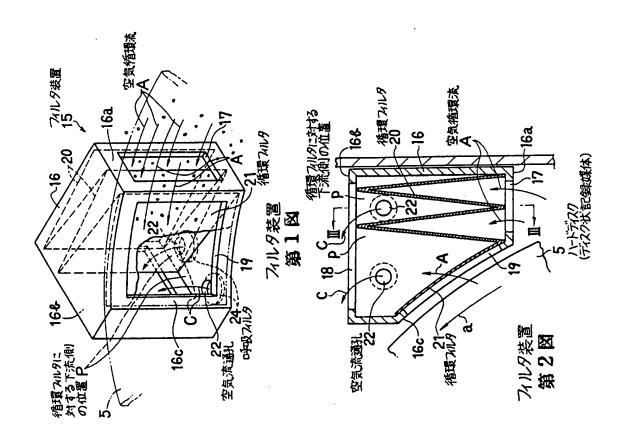
A ······· 空気循環流

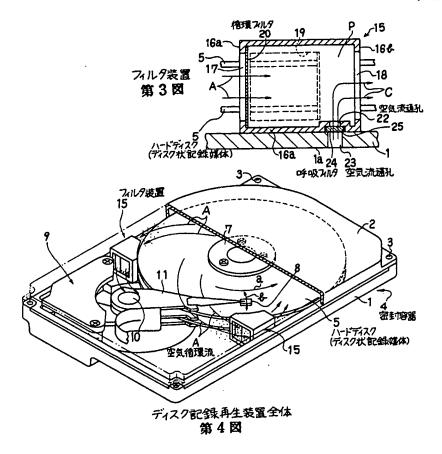
P ······· 循環フィルタに対する下流側

の位置

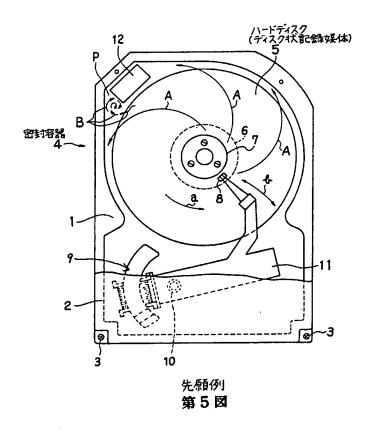
である。

代理人 土屋 勝





4. 1. 1. 19



-611-